

厚木市地域防災計画改定に係るワールドカフェの実施結果について

厚木市では、今年度、厚木市地域防災計画の改定を進めています。改定に当たり、市民の皆様の意見を聴くため、女性を中心に「家庭での防災対策について」をテーマにワールドカフェを実施しました。

実施団体及び実施日時

- (1) 団体名 厚木のぞみ幼稚園
日 時 平成 30 年 5 月 21 日 (月)
午前 11 時から正午まで
場 所 厚木のぞみ幼稚園
参加者 保護者 34 人

- (2) 団体名 厚味会
日 時 平成 30 年 6 月 18 日 (月)
午後 1 時 30 分から午後 2 時 30 分まで
場 所 市民交流プラザ 調理室
参加者 18 人

- (3) 団体名 厚木市地域婦人会連絡協議会
日 時 平成 30 年 7 月 10 日 (火)
午前 11 時から正午まで
場 所 市民交流プラザ ルーム 601
参加者 13 人

意見内容

団体名 厚木のぞみ幼稚園

備蓄関係

- ・水、食料の備蓄をしている。ただし、消費期限については確認できていない。
- ・アレルギー対応食品について、アレルギーに配慮が必要な子を持つ親でないと家庭での備蓄は考えていない。
- ・パンの缶詰を備蓄しているが、期限が近くになると業者から教えてもらえる。
- ・我が家はオール電化のため、カセットコンロを災害用に備蓄している。
- ・我が家の備蓄の一つに「水のいらないシャンプー」がある。お勧めです。
- ・備蓄品としてマスク必須。お菓子など糖分のとれるもの。粉ミルク、オムツ、女性用品を備蓄している。

- ・備蓄食材はレトルトセット。
- ・水を1人1ケース備蓄している。
- ・備蓄品を押し入れに入れたままにしてしまう。
- ・東日本大震災の被災を経験して薬は大切である。
- ・水、缶詰の期限のチェックを怠らないようにしている。
- ・備蓄用水、缶詰を一つのかばんに入れてある。
- ・お箸、紙コップ、簡易トイレは準備してある。
- ・おしりふき、ペットシート、カップ麺は用意してある。
- ・備蓄は、何か所かに分散して用意してあるほうが良い。
- ・2階にも靴を用意しておくほうが良い。
- ・24時間消えないロウソクがある。
- ・ラジオ用として電池、充電器の準備をしている。
- ・ビスケットは、手軽に食べられる。
- ・雨水タンクを準備している。
- ・女性用品は止血に使える。
- ・カセットコンロがあると、ガスが使える。
- ・家族1人に2リットルのペットボトル6本を備蓄している。
- ・避難生活では口の洗浄が大事だということを聞いたことがあり、口の洗浄液を備蓄している。

避難所関係

- ・避難所が遠い。
- ・避難所では、犬等も一緒になる。私は、犬アレルギーである。どんな対策があるか知りたい。
- ・子どもが喘息もちである。避難所の毛布などに肌が触れただけで症状が悪化する可能性がある。
- ・避難所にペットを入れて欲しい。
- ・どこか近隣に避難所が一つほしい。避難所まで遠い。
- ・ペット用のゲージを持って避難というのは厳しい。
- ・雨の場合の避難場所の統一をしてほしい。
- ・2階にも避難用具を準備しておいたほうが良い。
- ・自治体で一ヶ所に集合してから、みんなで避難すると言われているが、実際、そのようなことは出来ないと思う。

その他

- ・我が家では、家具の転倒防止策を行っているが、なかなか全ての家で行うのは難しい。お金もかかる。大切なのは、やる気を起こさせること。

- ・子どもがアトピーである。現在クリームを塗ることが日課となっているが、災害時にどうなるか心配。
- ・我が家では、地震時、自動的に家具の扉がロックする後付けできるキットを使用している。
- ・寝室には家具を置かないようにしている。
- ・阪神淡路大震災クラスの地震では、通常の家具転倒防止措置では通用しない。倒れるのではなく、飛んでくる印象。
- ・災害に対して「自分は大丈夫だろう！」という気のゆるみがある。何かきっかけがないと対策に乗り出す気持ちになれない。
- ・我が家では、家具の転倒防止対策として家具の下にゴムを敷いている。
- ・現金をある程度、家に置いている。これは東日本大震災の際に、お店が営業を開始しても現金が手元になかったため、何も購入できなかった光景をテレビで見たから。
- ・ガラスシート（飛散防止シート）を貼っている。しかし、貼るのは大変だった。
- ・突っ張り棒はおしゃれではないので、使用するのをためらう。
- ・猫砂は非常用トイレに使う。
- ・カートに犬と子どもを避難の時は乗せる。
- ・川の氾濫が心配。
- ・家族で待ち合わせ場所を決めている。
- ・家探しの時は、ハザードマップを参考にする。
- ・近所に川が多いので、浸水が心配。

団体名 厚味会

備蓄関係

- ・水・マットレス・テントなど備蓄品は外の倉庫に入れている。
- ・キャンプ用品を備蓄品としている。
- ・勝手口のわきに水、食料を置いている。
- ・ペット（猫）用の缶詰食糧を備蓄している。
- ・備蓄品は、毎年防災訓練時に点検している。
- ・枕元に防災リュックを置いている。
- ・トイレ対策は、重要である。携帯トイレは、備蓄している。
- ・外の物置自体を防災用としている。

避難所関係

- ・指定避難所、指定緊急避難場所、広域避難場所と多くて混乱する。
- ・避難所にペットを連れて行けるかわからない。
- ・避難所の収容人数が心配。
- ・避難所まで遠い。

その他

- ・災害情報をいち早く入手するため、自治会の役員をしている。
- ・外国人が近所に多い。防災訓練の参加を市からも呼びかけてほしい。外国人向けの防災パンフレットがあると良い。
- ・井戸を所有している人を周知してほしい。
- ・普段着で就寝している。

団体名 地域婦人会連絡協議会

備蓄関係

- ・非常食の更新が手間である。期限を忘れてしまう。
- ・備蓄品の購入先がわからない。
- ・水不足が懸念されるので、備蓄品は水を使わないものがよい。
- ・缶詰のパンは、備蓄品として良い。
- ・市から教えてもらったローリングストック法を活用している。
- ・水は、ケース単位で備蓄している。

その他

- ・相模川が決壊することはないと思っていたが、今回の豪雨を見ると安心できない。
- ・市内には、河川が多いので心配である。
- ・避難用として、裸足よりは良いので、玄関にスリッパを常備している。